

PF-製仕-086A

2023年3月30日

トンネル内 現場打ちハンドホール専用
角型エフレックス用ベルブロック Lite

仕 様 書

古河電気工業株式会社
AT・機能樹脂事業部門
機能樹脂技術開発部

1. 適用範囲

この仕様書は、トンネル内で現場打ちハンドホールに使用する角型エフレックス用ベルブロック Lite について適用します。

2. 種類

ベルブロック Lite の種類は表-1 の通りとします。

表-1 種類

呼び径	長さ 100mm タイプ	長さ 150mm タイプ	長さ 200mm タイプ	条数
φ 50	KAB-50-1	KABL-50-1	KABLL-50-1	1
	KAB-50-2	KABL-50-2	KABLL-50-2	2
	KAB-50-3	KABL-50-3	KABLL-50-3	3
	KAB-50-4	KABL-50-4	KABLL-50-4	4
	KAB-50-6	KABL-50-6	KABLL-50-6	6
	KAB-50-9	KABL-50-9	KABLL-50-9	9

3. 材料

ベルブロック Lite の材料は表-2 の通りとします。

表-2 材料

部材	材料
本体	難燃 ABS
固定板※	難燃 ABS
発泡樹脂シート	架橋 PE
O リング	NBR
ビス※	SUS

※1 条品では不使用

4. 形状・寸法

ベルブロック Lite の形状は図-1、図-2 の通り、寸法は表-3 の通りとします。

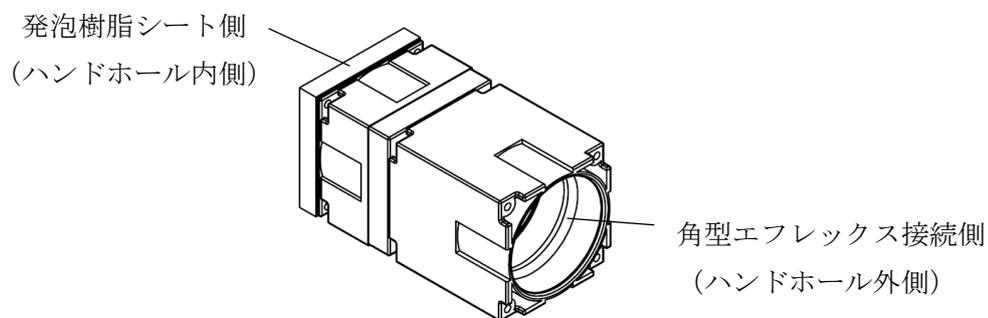


図-1 ベルブロック Lite 矢視図 (例: KABL-50-1)

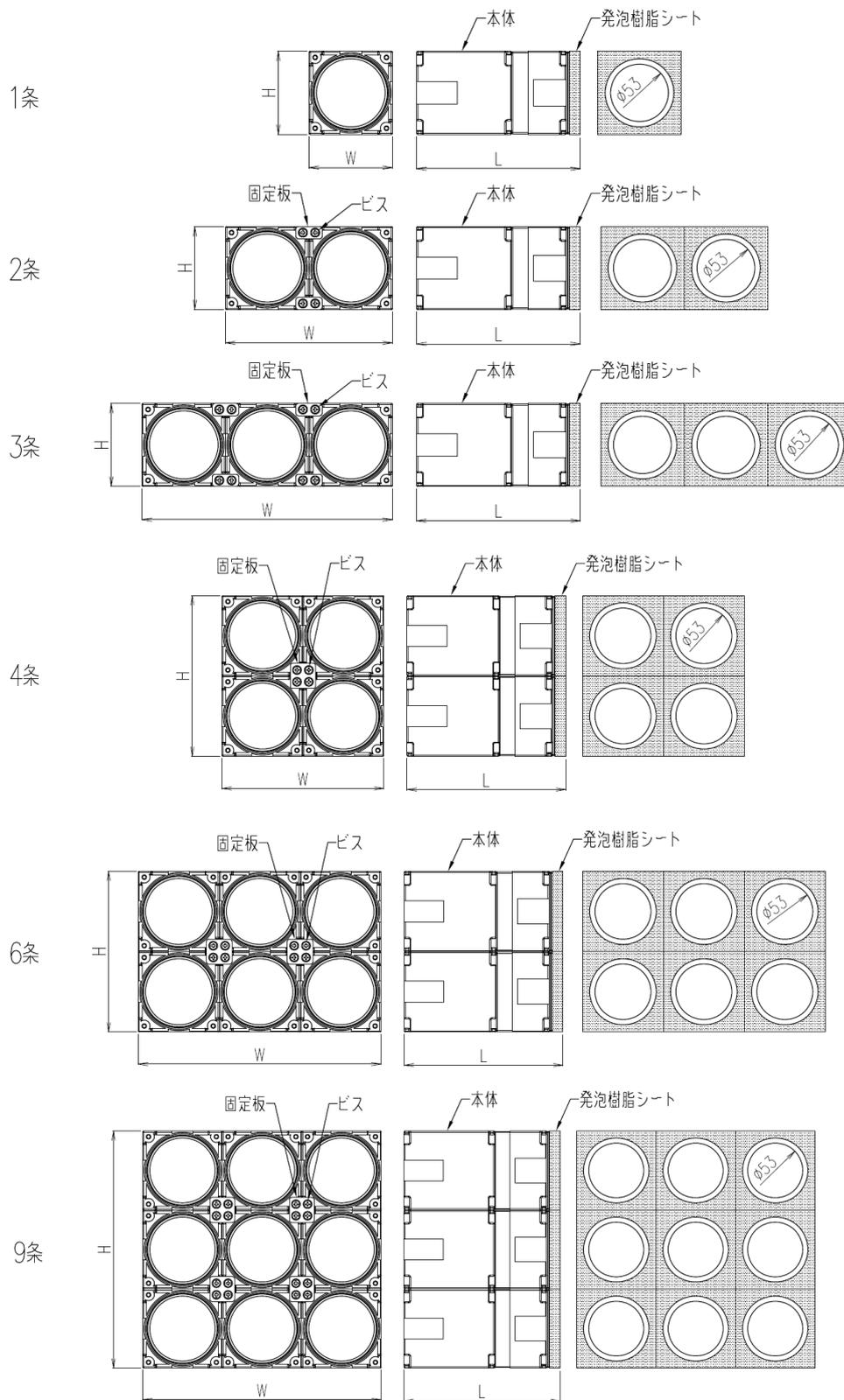


図-2 ベルブロック Lite 形状 (側面図は L=150 の例)

表-3 寸法 φ50

品番	L	W	H
KAB-50-1	100 ±3	76.5 ±3	76.5 ±3
KAB-50-2	100 ±3	153 ±4	76.5 ±3
KAB-50-3	100 ±3	229.5 ±5	76.5 ±3
KAB-50-4	100 ±3	153 ±4	153 ±4
KAB-50-6	100 ±3	229.5 ±5	153 ±4
KAB-50-9	100 ±3	229.5 ±5	229.5 ±5
KABL-50-1	150 ±5	76.5 ±3	76.5 ±3
KABL-50-2	150 ±5	153 ±4	76.5 ±3
KABL-50-3	150 ±5	229.5 ±5	76.5 ±3
KABL-50-4	150 ±5	153 ±4	153 ±4
KABL-50-6	150 ±5	229.5 ±5	153 ±4
KABL-50-9	150 ±5	229.5 ±5	229.5 ±5
KABLL-50-1	200 ±7	76.5 ±3	76.5 ±3
KABLL-50-2	200 ±7	153 ±4	76.5 ±3
KABLL-50-3	200 ±7	229.5 ±5	76.5 ±3
KABLL-50-4	200 ±7	153 ±4	153 ±4
KABLL-50-6	200 ±7	229.5 ±5	153 ±4
KABLL-50-9	200 ±7	229.5 ±5	229.5 ±5

5. 特性

ベルブロック Lite の特性は表-4 の通りとします。

表-4 特性

項目	特性	試験方法
外観	実用上不適當な傷、割れ等がないこと	6.1
寸法	表-3 に示す寸法であること	6.2
水密性	外水圧 0.05MPa で 10 分間保持したとき、漏水等の異常がないこと	6.3
引抜強度	20 mm/min の速度で引張り、500N で抜けないこと	6.4

6. 試験方法

6.1. 外観

目視にて確認します。

6.2. 寸法

表-3 記載の寸法についてノギスを用いて測定します。測定温度は、20±15℃とします。

6.3. 水密性

ベルブロック Lite (代表品番：KABL-50-1) と角型エフレックスのオス継手部を接続し、両端に栓をした状態の試料を、水を満たしたタンク内にセットし、常温で外水圧 0.05MPa で 10 分間保持し、漏れやその他の異常が無いかを調べます。

6.4. 引抜強度

ベルブロック Lite (代表品番：KAB-50-1) と角型エフレックスのオス継手部を接続し、ベルブロック Lite を固定した状態で、常温で 20mm/min の速度で角型エフレックスの端部を引っ張ります。

7. 注意事項

- ・高温多湿、直射日光に当たる場所での保管はお控え下さい。
- ・プラスチック製品のため火気厳禁です。
- ・亀裂を起こす原因となりますので、ベルブロック Lite に有機溶剤、可塑剤、洗剤、油、アルコールが付着しないようご注意ください。特に、シーリング剤には、有機溶剤（キシレン、トルエンなど）や可塑剤（フタル酸エステル、DOP など）を含むもの（ポリウレタン系シーリング剤等）がありますので、成分をご確認の上、ご使用下さい。
- ・高所からの落下等、強い衝撃を与えると、割れや欠けが生じる恐れがありますので、ご注意下さい。
- ・ベルブロック Lite は納品時の構造のまま、分解しないで使用してください。
- ・ベルブロック Lite から発泡樹脂シートが外れていたら、付け直してから作業してください。
- ・養生前には、必ず外観上、亀裂、割れ、欠け、連結部の損傷がないことを確認した上で施工下さい。
- ・ベルブロック Lite の、角型エフレックスと接続する部分の内面に傷がつくと、水密性を損なう恐れがあります。当該部に傷がつかないように、お取り扱い下さい。
- ・施工時の注意事項は、ベルブロック Lite の取扱説明書 (PF22008)、および角型フレックス施工要領書 (PF17002) をご確認ください。

8. その他

本書記載の仕様は、製品改良のためことわりなく変更する場合がありますのでご了承下さい。

-以 上-

トンネル内 現場打ちハンドホール専用

角型エフレックス用ベルブロックLite

品番: KAB-□-□, KABL-□-□, KABLL-□-□



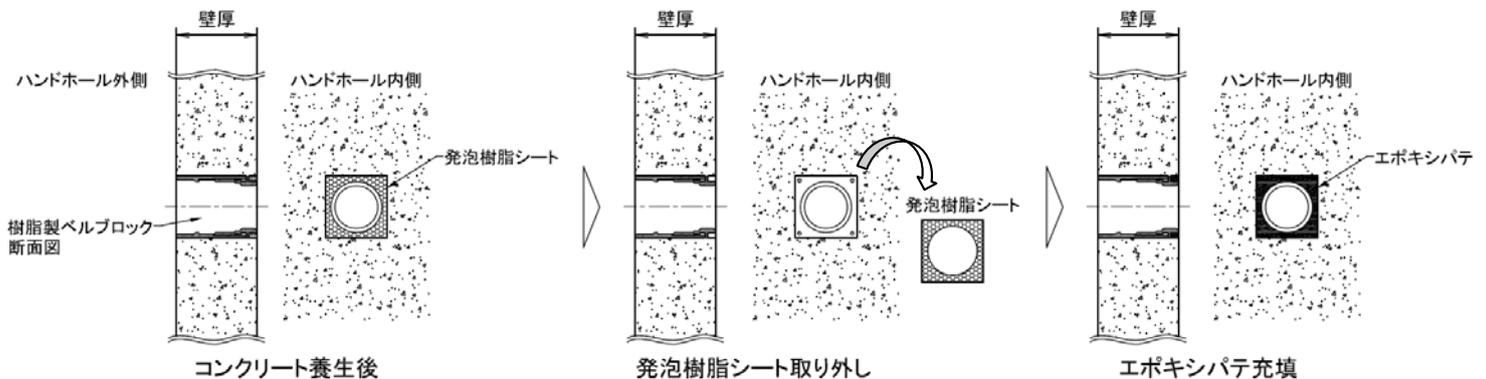
注意事項 (必ずお読みください)

■全般

- ・高温多湿、直射日光に当たる場所での保管はお控えください。
- ・プラスチック製品のため火気厳禁です。
- ・亀裂発生の恐れがあるため、有機溶剤、可塑剤、洗剤、油、アルコールが付着しないようご注意ください。
- ・落下等により衝撃を加えると、割れや欠けが発生する恐れがあります。

■コンクリート埋め込み時

- ・ベルブロックは納品時の構造のまま、分解しないで使用してください。
- ・ベルブロックから発泡樹脂シートが外れていたら、付け直してから作業してください。
- ・トンネル内でハンドホールを現場打ちする際に、ベルブロックを埋め込んでください。
- ・ベルブロック同士の隙間は10mm以上取り、エポキシパテ (EPOKAN、EPOAL) を充填して下さい。
- ・コンクリート養生熱によるベルブロックの変形にご注意ください。
- ・コンクリート打設時、養生時はベルブロックを固定し、ベルブロックの浮き上がりにご注意ください。
- ・ベルブロック内にセメントペーストが入り込まないようにご注意ください。
- ・ベルブロックの取り付け方向にご注意ください。発泡樹脂シート側＝ハンドホール内側になります。
- ・止水が必要な場合は、コンクリート養生後に発泡樹脂シートを取り外し、空いた隙間にエポキシパテ (EPOKAN、EPOAL) を充填してください。
- ・取り外した発泡樹脂シート(架橋ポリエチレン製)は自治体の指示に従い適切に処分して下さい。



■角型エフレックス接続時

- ・接続時、ベルブロック内および管に水・砂・泥等が付着しないようにしてください。
- ・漏水の原因となりますので水・砂・泥等は良くふき取って下さい。
- ・水の多い場所では、接続箇所周辺の排水を行って作業をしてください。
- ・ベルブロック内面および角型エフレックスのパッキンに滑剤を塗布し、突き当たるまでまっすぐ挿入してください。斜め挿入にご注意ください。
- ・滑剤は、弊社製品であるVソープをご使用下さい。
- ・一度差し込むと解除できませんのでご注意ください。
- ・角型エフレックスの急曲げ配管はしないで下さい。

